

宇城教頭会だより

宇城立松橋小学校

井ノ口 洋

1 はじめに

本年度、宇城管内は小学校22校、中学校10校、会員数が34名(鶴城中2名、松橋中2名)である。

共通の研究テーマを掲げ、学校運営の補佐や教育活動に従事しながら、管内小中学校のすべての教頭が、同一歩調で取り組んだ。

2 組織

(1) 宇城教頭会役員

会長	井ノ口 洋	(松橋小学校)
副会長	瀧森 智	(三角中学校)
副会長	吉村 良子	(網田小学校)
研修部長	石原 公頭	(青海小学校)
研修副部長	田邊 章	(網田中学校)
事務局	寺田 幸司	(豊福小学校)
事務局	上原 弘光	(豊野小学校)
会計	井上唯一郎	(鶴城中学校)
会計	岡本 賢也	(三角小学校)
監査	中嶋 利彦	(中央小学校)
監査	北園 厚司	(海東小学校)
地区代表	小田 人史	(走瀧小学校)
地区代表	畷村 成彦	(豊川小学校)
地区代表	小夏 隆雄	(豊野中学校)

(2) 県教頭会役員

理事	井ノ口 洋
副理事	寺田 幸司
研究委員	石原 公頭
副研究委員	田邊 章
日本教育会評議員	井ノ口 洋
文教会館監事	橋本 信也

3 活動内容

(1) テーマ

「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」(第12期)

(2) 実践事項

- 学校教育改革への意欲的な取組と生きる力を育む学校教育の実現に努める。
- 今日的課題の解決に向けた研修活動の深化と協力体制の強化を図る。
- 教育課程の趣旨を踏まえた学校経営の合理化と教育の質的向上に努める。
- 教頭としての職務意識の向上と実践力の育成及び組織活動の推進に努める。

○教育関係諸団体及び地域社会との連携を密にし、教育活動の活性化を図る。

○国際的視野に立って、現在及び未来の望ましい教育の在り方を探求する。

(3) 研究のあゆみ

○第1回代表者会・第1回地区別研修

・組織作り及び年間研修計画作成

○第1回宇城教頭会研修会

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○教頭会総会(紙面表決)

・令和4年度 組織づくり、事業計画等

○第2回宇城教頭会研修会

・講話「教頭先生方に期待すること」

講師 宇土市立花園小学校長

下川 穰 氏

○第3回宇城教頭会研修会

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○第4回宇城教頭会研修会

・講話「学校の危機管理と対応の在り方」

講師 有斐総合法律事務所弁護士

村田 晃一 氏

○第5回宇城教頭会研修会

・講話「ICTを活用した授業改善と校内研修の改革」

講師 熊本大学大学院特任教授

前田 康裕 氏

○校長・副校長・教頭・主幹教諭合同研修会

・講話「52歳の立場宣言～なかまがいれば人は変わる～」

講師 部落解放同盟熊本県連合会

豊野支部長 岡 潤爾 氏

○宇城教頭会自主研修会

・第1回～第3回は全て中止

4 おわりに

新型コロナウイルス感染症の拡大は今年度も続き、その状況を鑑みて第1回・3回の教頭会研修と夏期休業期間中の自主研修を中止せざるを得なかった。

そのような中、県教頭会研究大会を3年ぶりに参集型で開催するという本部の方針を励みにして、第2回・4回・5回の教頭会研修を参集型で実施できたことを嬉しく思う。また、講師の方々には、私たちに多くの示唆を与えていただき、とても感謝している。

今後も宇城教頭会会員同士の連帯感を深め、学校を取り巻く諸課題に対し真摯に向き合い、具体的な実践を行っていききたい。